

家庭数配付

三日市小学校保護者のみなさまへ

令和5年3月14日

河内長野市立三日市小学校
校長 北野良和

令和4年度学校教育自己診断アンケートの結果について

アンケートにご協力いただきありがとうございました。今年度の「学校教育自己診断」について、保護者のみなさまと児童（5・6年）のアンケート結果を集計しました。

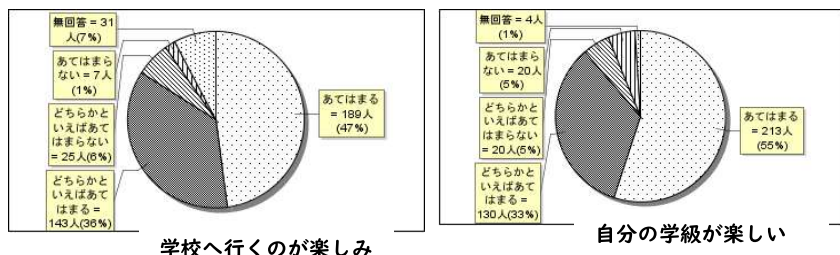
新型コロナウイルス感染症感染防止対策が今年に入り段階的に緩和されてきたものの、今年度も教育活動の大半は活動に制限が多くあり、子どもたちが校外へ学習に行く機会が少なかったことや、保護者のみなさまに学校へ来ていただく時には人数制限をかけることとなり、まだまだコロナ禍前とは程遠い教育活動ではありました。

質問項目では「学校は、実験・観察をしたり、学校外へ見学に行く機会がよくある」の項目や、「学校は、保護者や地域の人が授業を参観する機会を設けている」、「PTA 活動には参加しやすい」などの項目では、今年度も肯定的意見がコロナ禍前より少ないのが現状です。

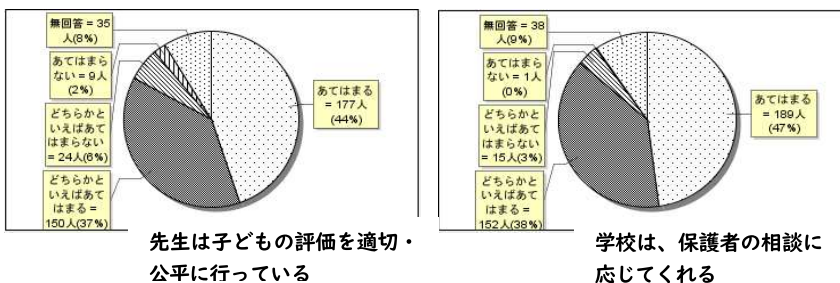
今後、大幅に制限が解除されます。今後ともみなさまのご支援・ご協力をお願いいたします。

【全般】

「子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている」「子どもは、自分の学級が楽しいと言っている」について、今年度も多くの保護者の方に肯定的意見をいただいております。しかしながら否定的意見も昨年よりは減ったものの約1割あります。子どもたちの変化を見逃さず、学校へ来ることが楽しくなるよう努力していきます。

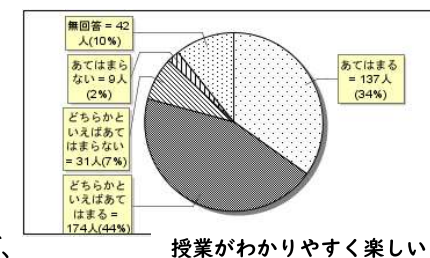


「先生は子どもの評価を適切・公平に行っている」や「学校は、保護者の相談に応じてくれる」では、ほとんどの保護者の方から肯定的意見をいただきました。ありがとうございます。しかしながら否定的意見も少しあることから、これからも、気軽にご相談いただける体制づくりを行い、信頼される学校にしていきたいと考えています。



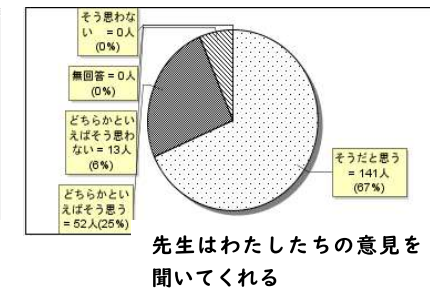
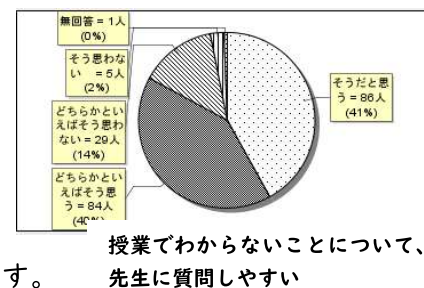
【学習面】

保護者質問の「子どもは、授業が楽しくわかりやすいと言っている」において、昨年度約15%あった否定的意見が、今年度は10%を下回りました。児童においても、否定的意見は5%でした。各先生が、その日の目標を明確にしたことや、授業の最後に振り返りを行うことで、子どもたちの理解を定着させる取り組みをおこなった結果と捉えています。今後もお子さまが、わかりやすく楽しい授業ができるよう取り組んでいきます。



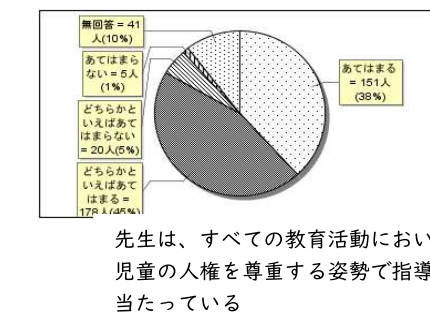
児童の「先生はわたしたちの意見を聞いてくれる」は、ほとんどが肯定的意見であることに對し、「授業でわからないことについて、先生に質問しやすい」では否定的意見が16%あります。

子どもたちの疑問や不安を解決できるよう、分からない時は分からないと言える学級づくりの大切さを再認識し、一人ひとりのお子さまが満足できるよう努力していきます。



【生活面】

「先生は、すべての教育活動において、児童の人権を尊重する姿勢で指導に当たっている」の項目は、保護者のみなさまからの肯定的意見が約95%となっています。本校の人権教育目標「よさや違いを認め合う集団作りをめざして」に則し、校内でいろいろな取り組みをおこなっています。これからも、一人ひとりを大切に、差別を許さない取り組みをおこなっていきます。



「学校は、子どもに生命を大切にする心や社会のルールを守る態度を育てようとしている」や「学校は、子どもが自分を大切に他人への思いやりを学ぶ機会がある」等、社会性における項目でも、今年度も多くの保護者の方に肯定的意見をいただきました。子どもたちが社会的にも健全に成長していけるよう今後とも指導していきたいと思ひます。

